

令和2年度 公益財団法人さいたま市スポーツ協会

事業報告書

I 市民の健康及び体力づくりの推進（定款 第4条第1号）

1 親子で楽しむスポーツチャレンジ開催事業

親子で楽しめる体験型イベントを開催し、気軽にスポーツに触れ合い、楽しめるイベントの開催を予定していたが中止となった。

開催期日：①令和2年11月14日（土）サイデン化学アリーナ

②令和3年2月27日（土）サイデン化学アリーナ

対象者：一般市民

参加者：※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

II 体育・スポーツ指導者の養成及び資質の向上（定款 第4条第2号）

1 さいたまスポーツセミナー開催事業

市内スポーツ指導者を対象に、理論・実践方法を身に付け、スポーツ指導者としての総合的な資質の向上を図ることにより、競技力向上及び生涯スポーツの振興に寄与することを目的として開催を予定していたが中止となった。

対象者：一般市民

参加者：※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

2 アスリート食育プログラム

アスリート及び競技者を支える保護者等に向けて、栄養士が競技に向けての必要な栄養学及び実技を行い、資質の向上に寄与することを目的として開催を予定していたが中止となった。

対象者：一般市民

参加者：※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

III 体育・スポーツ団体及びスポーツ少年団の育成（定款 第4条第3号）

1 加盟団体助成事業

加盟団体の活動を支援するため、団体運営に必要な費用を補助した。

期間：令和2年8月

対象：加盟団体

2 スポーツ少年団育成事業

青少年スポーツを振興し、心身の健全な育成に資することを目的とし、スポーツ少年団を育成した。（「スポーツ少年団事業報告」参照）

IV 加盟団体の競技力向上及び大会等への選手の派遣（定款 第4条第4号）

1 各種大会派遣費補助事業

加盟団体に登録している選手等が関東大会、全国大会、国際大会又はこれらに準ずる各種スポーツ大会に出場する場合、交通費及び宿泊費の一部を補助した。

各種大会派遣補助事業（助成件数）（前年 59 件）

	団体(件)	個人(件)	合計
全国大会	2	9	11
関東大会	1	2	3
その他	1	0	1
合計	4	11	15

全国大会出場： 7 種目・11 大会
（個人 17 名・団体 2 チーム）
関東大会出場： 3 種目・3 大会
（個人 3 名・団体 1 チーム）
その他：都市対抗野球（1 チーム）

2 スポーツ振興基金事業

本協会を主体とし加盟団体に所属する団体・個人だけではなく市内在住・在学の小中学生等を対象とする計画的かつ効果的なスポーツ事業を実施する団体に補助金を交付するためのスポーツ振興基金を交付する団体を選定し基金助成を行った。

選考団体：さいたま市サッカー協会（3年目）

さいたま市ソフトボール協会（2年目）

さいたま市陸上競技協会（1年目）

V 各種大会、講習会及び各種スポーツ事業の実施並びに援助（定款 第4条第5号）

1 市民体育大会開催事業《受託事業》

さいたま市が主催する市民体育大会開催業務を受託開催するとともに、大会を主管する加盟団体に対し、大会運営に要する費用の一部を補助した。

開催期日：令和2年4月～令和3年3月

会場：さいたま市内体育施設 等

対象者：一般市民

大会数：加盟団体 17 団体が開催

2 団体主催大会開催補助事業

加盟団体が主催する大会、講習会等に対し、その費用の一部を補助した。

期間：令和2年4月～令和3年3月

3 スポーツ教室開催補助事業

市民を対象としたスポーツ教室（団体の特定者の講習・研修会を除く。）を実施する加盟団体に対して、その費用の一部（5万円）の補助を6団体に行った。

補助団体：テニス・体操・ソフトテニス・バドミントン・なぎなた・トランポリン

4 市民スケート教室開催事業

家族・友人同士で気軽に楽しめるウインタースポーツであるスケートの指導を参加者の技能に合わせて行う教室の開催を予定していたが中止となった。

会 場：沼影アイススケートリンク（沼影市民プール）

対 象 者：一般市民（小学生以上）

参 加 者：※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

5 障害者交流スポーツ「フットサル教室」開催事業

障害のある方々向けに、技能に合わせて参加するフットサル教室を開催した。また、元プロサッカー選手の指導を得て技術の向上と楽しむ場を提供する教室の開催を予定していたが中止となった。

対 象 者：障害のある一般市民

参 加 者：※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

VI 体育・スポーツに関する調査研究及び情報発信（定款 第4条第6号）

1 ホームページ充実運営

本協会ホームページに行事予定、ディスクロージャー等を掲載し、本協会事業を積極的に発信した。また、加盟団体に対する各種申請書等のダウンロード、情報提供を行った。電子窓口として活用した他、情報発信、会員募集及び市内体育・スポーツ関連情報を提供した。

アドレス：<https://www.saitamacity-sports.or.jp/>

内 容：協会概要、事業報告・計画、予算・決算、参加者募集記事の掲載 等

2 公式レポート・ツイッター充実運営

ホームページに設置したレポート並びにツイッターにおいて、教室募集状況等のリアルタイムなスポーツ情報発信を行った。また、レポートは協会事務局を經由し、加盟団体やスポーツ少年団部会などへ情報発信できるようにし、市内スポーツ関連情報を気軽に提供する場とした。

3 広報誌等発行业

本協会の事業内容、加盟団体の活動及び体育スポーツの情報を掲載した広報誌を発刊するとともに、本協会事業の周知・宣伝に努めた。また、令和2年度も日本スポーツ振興センターの助成を受け4万部への増刷を行った。

広 報 誌：スポーツライフさいたま 17号（A4・見開き・52ページ・フルカラー）

印刷部数：40,000部

発刊回数：年1回 3月発行

配 布 先：協会加盟団体・市内公共施設・協賛企業 等

VII 市内スポーツ施設の管理運営に関する事業（定款 第4条第8号）

1 大原スポーツ広場管理運営事業

多目的に使用できる大原スポーツ広場の管理運営を行い、グラウンドの貸出や市民スポーツの振興に役立てた。

【利用種目内訳】（前年 127件 27,556名）

利用種目	申込件数	利用人数
野 球	26	3,662
サッカー	87	13,540
ラグビー	10	340
その他	6	5,760
合 計	129	23,302

※総合型地域スポーツクラブ占有利用分除く

VIII その他目的を達成するため必要な事業（定款 第4条第9号）

1 専門委員会開催

本協会の事業を専門的に検討するために総務・財務・広報委員会を開催した。

委員会名	日 時	内 容
総務委員会	令和2年 4月13日（月）	スポーツ協会 規程の一部改訂について 等
	令和3年 2月16日（火）	
財務委員会	令和3年 2月16日（火）	賛助会員の募集について 等
広報委員会	令和2年 11月24日（水）	広報誌発刊について 等

総務委員会・財務委員会は書面決議での開催

広報委員会はときわ会館で開催

2 自主財源確保調査研究事業（政令指定都市スポーツ協会研究協議会）

昨今の財政事情を踏まえ、組織の財政健全化と自主財源確保の方策を調査・研究するとともに、政令市の体育協会・スポーツ協会が一堂に会す研究協議会に参加し、意見交換・情報共有を図る協議会の開催を予定されていたが、中止となった。

開催市：一般財団法人札幌市スポーツ協会

参加者：※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため、中止

3 AED（自動体外式除細動器）貸出業務

本協会及びスポーツ少年団等がAED（自動体外式除細動器）の設置のない遠隔地等で活動を行う場合、迅速な救命活動を実施することができるようにするため、AEDの貸出を行った。

貸出台数：6台

貸出件数：33件（前年 32件）

貸出料金：無料

4 スポーツ用品貸出事業

市民スポーツ振興の推進を目的として、本協会が所有するスポーツ関連用具のレンタルを行った。

貸出備品：バドミントンラケット・プラカード・テント・表彰盆等

5 さいたま市関連協力事業

体育賞表彰式協力事業《さいたま市 協力事業》

体育スポーツの振興に貢献した者及び各大会に優秀な成績を収めた者を表彰し、その功績及び栄誉をたたえた。なお、新型コロナウイルス感染症のため表彰式は中止となり賞状・記念品の授与のみとなった。

対象者：競技団体優秀選手及び功労者等

6 協会表彰式

本協会独自の表彰を設け、スポーツ協会賞及び優秀指導者賞を授与した。

開催期日：令和2年4月29日（水・祝）

受賞者：スポーツ協会賞 17名

優秀指導者賞 9名

令和2年度 さいたま市スポーツ少年団

事業報告書

I スポーツ少年団育成指導の援助（規程 第5条第1号）

1 スポーツ少年団種目別部会等助成事業

スポーツ少年団加盟団体の活動を支援するため、各部会に対し、必要な助成を行った。

期 間…令和2年9月

算出方法…基本額 30,000 円 + @570 × 団員数

2 スポーツ少年団大会派遣補助事業

スポーツ少年団に登録している選手等が関東大会又は全国大会に出場する場合、交通費及び宿泊費の一部を補助した。

【各種大会派遣補助事業（助成件数）】

（前年 5 件）

	団体(件)	個人(件)	合計
全国大会	0	0	0
関東大会	0	0	0
合計	0	0	0

該当なし

3 スポーツ少年団大会・部会大会開催事業

各種目別に、さいたま市スポーツ少年団主催によるスポーツ少年団大会及びスポーツ少年団主催の部会大会を開催し、市内のスポーツ少年団の競技力向上及び健全育成を推進した。

4 スポーツ少年団地域交流推進事業

他市町村スポーツ少年団との交流により、団員のコミュニケーション能力を高めるとともに、単位団数の少ない種目の活動を活発化させるため、地域交流に対し、必要な助成を行った。

【実施種目内訳】

No	部 会	期日	大会名
1	サッカー	11月1日	森田杯少年サッカー大会
2	ソフトボール	8月30日～10月18日	さいたま市スポーツ少年団ソフトボール秋季大会
3	ソフトテニス	11月23日	令和2年度さいたま市ジュニアソフトテニス研修大会
4	卓球	12月5日	第19回地域交流卓球大会

II スポーツ少年団指導者及びリーダーの養成（規程 第5条第2号）

1 スポーツ少年団指導者現地研修会派遣事業

県内市町村スポーツ少年団指導者が、種目別大会の今後の運営方法について協議する研修会に、スポーツ少年団の各種目部会から代表者を派遣し、相互の情報交換を通して指導者の資質向上を図った。

実施日時：令和3年1月30日（土）

会 場：オンライン開催

対 象 者：スポーツ少年団各種目別代表・本部員

参 加 者：3名

2 スポーツ少年団指導者 スタートコーチ養成講習会事業

スポーツ少年団の指導者資格で名称・カリキュラムの変更があった『スタートコーチ』の養成講習会を開催して、有資格指導者を増やすとともに指導者の資質向上を図る目的で開催を予定していたが中止となった。

3 スポーツ少年団母集団育成研修事業

スポーツ少年団における「母集団」の意義と具体的な活動方法についての講習会を開催し、スポーツ少年団活動の基盤を支える母集団の育成を図る研修を予定していたが中止となった。

4 リーダー育成事業

団員の個性伸長・少年団の組織的成長を目的に定められた日本スポーツ少年団リーダー制度にもとづき、リーダー会の組織化と基盤整備について研究・援助を行う。

・2020年度日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール開催要項

「日本スポーツ少年団リーダー制度」に基づき、リーダーの資質の向上をはかるとともに、将来のスポーツ少年団指導者の育成を目的として実施するシニア・リーダースクールは日本本部より開催の中止が決定された。

・埼玉県スポーツ少年団リーダースクール（ジュニアコース）

市町村スポーツ少年団リーダーの資質の向上と団活動の活発化を図るため、埼玉県スポーツ少年団が実施する研修会に、さいたま市より6名の派遣を行う予定だったが、埼玉県本部より開催の中止が決定された。

III スポーツ少年団体力テストの実施援助（規程 第5条第3号）

1 体力テスト実施事業

発育・発達の著しい団員の健康管理や、活動計画策定の基礎資料となる運動適性テストの実施促進を図った。

IV スポーツ少年団の団登録（規程 第5条第4号）

1 スポーツ少年団登録受付事業

各単位団からの登録を受理し、埼玉県・日本スポーツ少年団への登録を行った。

受付期日：令和2年4月1日（水）～9月30日（水）

内 容：登録システムによる登録・登録費の受領及びワッペン等の交付

登録数：団 数	244 団	前年比（－ 3）
指導者数	2,717 名	（－ 207）
団員数	7,448 名	（－1,113）

V その他、目的達成に必要な事業（規程 第5条第5号）

1 スポーツ少年団専門委員会開催

スポーツ少年団本部事業を検討し、活動を推進するために委員会を設置した。

2 広報誌発行事業

団員・指導者に対して情報提供を図るとともに、本団の活動・理念を広く市民に発信するため、広報誌の発行をスポーツ協会広報誌と併せて内容掲載を行った。

事業報告の附属明細書に記載すべき事項はありません。